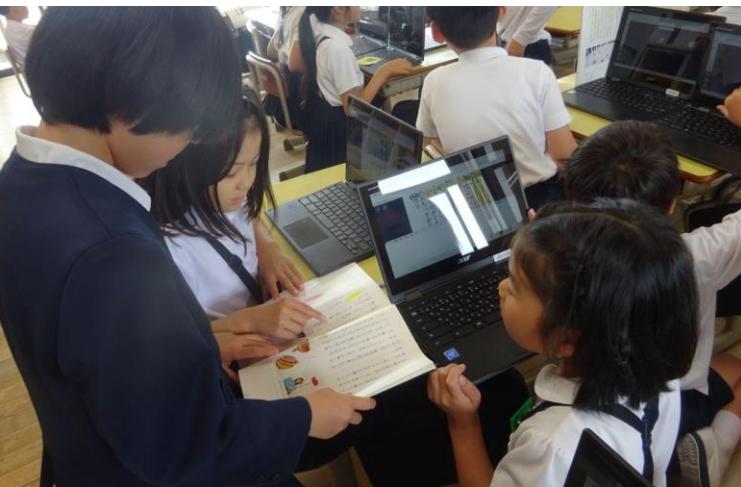


主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

第3学年 国語科

まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 「こまを楽しむ」



ポイント1

児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

とらえる
問い合わせをもつ



目ひょう



ゴール



遊んでみたい
こまについて
話そう。

せつ明文たんていになって、
筆者の考え方やせつ明文の工ふう
を読みとこう。

(キーワードやキーセンテンス
を基に、筆者の伝えたいことや
文章の構成の工夫を捉える。)

「証拠はどこ!?」
説明文探偵になって、
キーワードやキーセン
テンスを見付けよう！

「はじめ」と「おわり」から
「中」を予想して「まとまり」
を捉えたり、考えてみたい
「問い合わせ」を共有したりする。



子ども
たちの

「やってみたい！」という思い
から単元のゴールや学習過程を

ポイント2

対話や気付きの質を高める工夫



証拠となる文を基に
「見出し」をつける



探究

遊んでみたい 「こまランキング」



「こまランキング」を
共有し、自由交流する。
考えを比べながら伝え合
い、学びを深める。

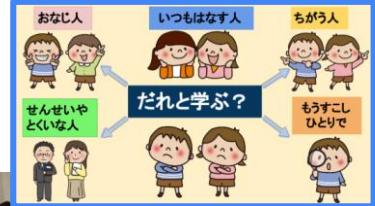


広げる

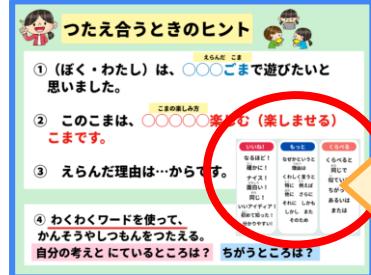


深める

学び方を工夫する 「学び方カード」



対話を深める
ヒントカード



対話のレベル
アップを!

ポイント3

次の学びに生かす振り返り

月 日 () 名前
いちばん遊んでみたいこまとその理由は?

	つたえ方	聞き方
3いいね 👍👍	「いちばん遊んでみたいこまと、その理由をつたえた。自分の考え方と聞く「わくわくワード」を組み合わせながら話したりした。」 わくわくワードを使ってみたかったんだった。	自分の考えとくらべ、わくわくワードの「いいね！」をかえしながら聞いたりした。
2いいね 👍👍	「いちばん遊んでみたいこまと、その理由をつたえた。」	自分の考え方とくらべ、わくわくワードの「いいね！」をかえしながら聞いた。
1いいね 👍	「いちばん遊んでみたいこまと、その理由をつたえた。」	自分と同じ考え方の人や、ちがう考え方の人話を聞いた。

「ルーブリック」と
「わくわくワード」



自分たちのランキング
と筆者が紹介している
事例の順序が違う！

筆者の意図を
探りたい！

次の学びへ

言葉を
豊かに

学びを
生かして
深める

わくわく
ワード

- アイディアがわく！
- 勇気がわく！
- わくわくする！

みんなで対話を楽しもう

どうして?	いいわ!	もっと	くらべる	つなげる	まとめる
いつ? どこで? だれが? 何を? どのように? 例えは?	なるほど! 確かに! ナイス! 面白い! 同じ! いいアイディア! 初めて知った! 分かりやすい!	なぜかというと くわしくてまとぎ それに、例えば それに、しかも しかし、また そのため	くらべると 理屈は 同じで 似ていて ちがって あるいは または	合わせると ます 次に 最後に だから そして	まとめる まとめる だから やっぽり 要するに つまり



【せつ明文たんていになろう】

学んだことや気付きを
次の学びや実生活に生かす。

学びを振り返って
自分の考えをまとめる

回る様子を楽しむことと回し方を楽しむことを分けてしまふか？ しかし、この「いいね！」をかえしながら話したりするから、この「じゅん」にしていいじゅんにしている。みんなが知つていてわかりやすくなる。このこまを分けてしまふか？ はかのこまとくらべたことも書いていいじゅんにしている。だから、ずぐりは、雪の上で回すから、ほかのこまよりとくべつなんじがする。ほかのこまをくらべたことも書いていいじゅんにしようかいしている。

なぜ、ずぐりをさい後に、せつ明したのだろう。

